土地改良法（昭和24年法律第195号）第87条第１項の規定により、次の県営土地改良事業の計画を定めたので、同条第５項の規定により、同事業計画書の写しを次のとおり縦覧に供する。

なお、この計画については、同条第６項の規定に基づき、縦覧期間満了の日の翌日から起算して15日以内に静岡県知事に審査請求をすることができる。

また、この計画については、上記の審査請求のほか、静岡県を被告として、計画が定められたことを知った日の翌日から起算して６か月以内に取消しの訴えを提起することができる。

令和７年６月13日

静 岡 県 知 事　　鈴　木　康　友

関係市町名 事業名 地区名	縦覧場所	縦覧期間
伊東市 農業競争力強化農地整備事業 （農地整備事業（経営体育成型）） 池２期地区	東部農林事務所 及び 静岡県東部農林事務所 ホームページ※	令和７年６月13日から 令和７年７月３日まで

※　静岡県東部農林事務所ホームページ

（https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/tobunorin/index.html）

令和7年度新規採択

土　地　改　良　事　業　計　画　書

農地整備事業（経営体育成型）

池2期　　地 区

事業主体	静　　岡　　県

目　　次

第１章　目　的 …… 1
第２章　地域及び地積 …… 1
　第１節　地　域 …… 1
　第２節　地　積 …… 1
第３章　現　況 …… 2
　第１節　気象及び海象 …… 2
　　１．一般気象 …… 2
　　２．特殊気象 …… 2
　　３．海　象 …… 3
　第２節　土地状況 …… 3
　　１．地形、土壌及び侵食の程度 …… 3
　　２．土地分類 …… 4
　　３．土地利用の状況 …… 4
　　４．土地所有の状況 …… 5
　第３節　水利状況 …… 5
　　１．用水状況 …… 5
　　２．排水状況 …… 7
　　３．河川状況 …… 9
　第４節　道路状況 …… 9
　　１．道路概況 …… 9
　　２．主要道路一覧表 …… 9
　第５節　地域農業の概況 …… 10
　　１．産業別職業人口 …… 10
　　２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに兼業別農家数 …… 10
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 …… 10
　　４．主要作物状況 …… 11
　　５．農業の動向 …… 11
第４章　一般計画 …… 12
　第１節　事業計画の要旨 …… 12
　　１．要　旨 …… 12
　　２．事業別面積 …… 12
　第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 12
　　１．営農計画の概要 …… 12
　　２．土地利用区分 …… 12
　　３．作付体系 …… 13
　　４．生産計画 …… 13
　　５．労働改善計画 …… 14
　　６．級地別土地利用区分 …… 14
　　７．土地配分計画 …… 15
　第３節　用水計画 …… 15
　　１．計画基準 …… 15
　　２．計画かんがい方式 …… 15
　　３．計画用水系統 …… 15
　　４．計画用水量 …… 15
　　５．水源計画 …… 16
　第４節　排水計画 …… 19
　　１．計画基準雨量 …… 19
　　２．計画排水方式 …… 19
　　３．計画排水系統 …… 19
　　４．排水量 …… 19
　　５．排水対策 …… 19

６．たん水検討 …… 20
第５節　道路計画 …… 20
１．道路及び索道 …… 20
２．路線配置図 …… 20
第６節　農用地造成計画 …… 21
１．農用地造成計画 …… 21
２．土壌改良 …… 21
第７節　洪水調節計画 …… 21
１．計画基準雨量 …… 21
２．計画洪水量及び調節量 …… 21
３．貯水池 …… 21
４．洪水調節検討 …… 22
５．管理計画 …… 22
第８節　干拓計画 …… 22
第９節　農用地整備計画 …… 22
１．区画整理 …… 22
２．暗渠排水 …… 23
３．客土 …… 23
４．農地保全 …… 23
第10節　老朽ため池改修計画 …… 24
１．洪水吐改修計画 …… 24
２．堤体補強計画 …… 24
３．取水施設改修計画 …… 24
第５章　主要工事計画 …… 24
第１節　用水施設 …… 24
１．頭首工 …… 24
２．貯水池 …… 24
３．揚水機 …… 25
４．用水路 …… 25
５．その他のかんがい施設 …… 25
第２節　排水施設 …… 25
１．排水水門 …… 25
２．排水機 …… 26
３．排水路 …… 26
４．その他 …… 26
第３節　道路及び索道 …… 26
１．道路 …… 26
２．索道 …… 27
第４節　農用地造成 …… 27
１．農用地造成工 …… 27
２．土壌改良 …… 27
第５節　洪水調節施設 …… 28
１．貯水池 …… 28
２．頭首工及び導水路 …… 28
第６節　干拓施設 …… 28
１．堤防 …… 28
２．潮止め …… 28
３．付属施設 …… 29
４．埋立 …… 29
第７節　農用地整備計画 …… 29
１．区画整理 …… 29
２．暗渠排水 …… 29
３．客土 …… 29
４．農地保全 …… 30
第８節　老朽ため池改修施設 …… 30
１．貯水池 …… 30

２．堤体補強施設 …… 31
第６章　付帯工事計画 …… 31
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 31
第８章　環境との調和への配慮 …… 32
第９章　換地計画の概要 …… 33
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… 33
第２節　換地区の設定 …… 33
１．換地区の名称、所在、面積 …… 33
２．換地区の設定する理由 …… 33
第３節　換地計画樹立の基本方針 …… 34
１．従前の土地の地積の基準 …… 34
２．用途別予定地積 …… 34
３．農用地集団化の方針 …… 35
４．非農用地換地の方針 …… 35
第４節　土地の評価及び清算の方法 …… 35
１．評価の方法 …… 35
２．清算の方法 …… 35
第５節　換地計画樹立の年度計画 …… 35
第６節　換地処分の時期に関する特則 …… 35
第10章　事業費の総額及び内訳 …… 36
第11章　効用 …… 37
第12章　関連する事業 …… 37
第13章　現況・計画図面 …… 37
１．計画一般図 …… 37
２．計画平面図 …… 37
３．土地利用計画図 …… 37

第 1 章　目　　的

本地区は、伊東市南部に位置し、標高215m～218mと比較的高く、周辺には、大室山の新規火山を囲むように溶岩流および、起伏性のある火山地が広がっている。中心域には、沖積低地が広がっており、水田として利用されている。

耕地の多くは、水田となっている。この水田は、大室山の噴火によりせき止められた池であり、昔は大池と呼ばれていた。江戸時代より田園開発が進み、明治の頃、鳴川の排水トンネルが完成している。大正8年頃に区画整理が行われ、現在の姿となっている。本地区は、周辺を山に囲まれ、山水が集中する地形となっている。このため、洪水時には、排水路の水位上昇による湛水被害に見舞われており、営農の妨げとなっていた。

平成元年から平成9年にかけ、県営かんがい排水事業を実施し、末端排水路を整備したことにより、湛水被害が軽減している。

近年、末端排水路の整備は行われたが、排水路以外の整備は行われていないため、施設の未整備による用水不足、支線排水路の排水不良が起きている。

また、本地区のほ場は、1区画当り400㎡程度であり、地質の影響もあるが区画が小さいことから、手作業もしくは、小型機械での作業となるので、多大な時間と労力がかかっている。

このため、ほ場へ安定した用水を供給するための用水路整備及び地下水を下げ、ほ場の乾田化を図るため排水路整備を行い、品質、収穫量向上を目指す。

また、畦畔撤去により、農地の大区画化を図るとともに、農道整備を行い、各ほ場への乗り入れできる道路の配置を可能とすることで、土地利用の高度化と維持管理の節減、農業の合理化を図ることを目的とする。

第 2 章　地 域 及 び 地 積

第 1 節　地　　域

（第1表）

事　業　名	地　域
農地整備事業（経営体育成型）	静　岡　県　伊　東　市

第 2 節　地　　積

（第2表）

事　業　名	現況地目／市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
農地整備事業（経営体育成型）	伊　東　市	21.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	
	計	21.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	

第 3 章　現　　況

第 1 節　気象及び海象

1．一般気象

（第3表-1）

観測所名 観測期間	三　島 S56～H22　年	かんがい期 4 月 ～ 9 月	非かんがい期 10 月 ～ 3 月	計 又は平均	備考
平均気温		21.8 ℃	10.0 ℃	15.9 ℃	
降水量	平均（㎜）	1,202.3 ㎜	672.6 ㎜	1,874.9 ㎜	
	基準年（日）	㎜	㎜	㎜	
降水日数	平均（日）	103 日	76 日	179 日	
	基準年（日）	日	日	日	
根雪期間		月　日 ～ 月　日			
無霧期間		月　日 ～ 月　日		日間	
最多風向		東南東	平均風速	2.2 m/S	

2．特殊気象

（第3表-2）

観測所名 三　島	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
観測期間 S 6 ～ H 24	数量	年月日	発生確立	数量	年月日	発生確立	数量	年月日	発生確立	数量	年月日	発生確立	数量	年月日	発生確立	
最大日雨量（㎜）	316.0	S13.6.29		310.5	H19.9.6		271.0	S45.6.15		268.0	S49.7.8		254.1	S23.9.16		
最大時間雨量（㎜）	81.5	H1.7.29		75.0	S9.8.30		73.4	S20.8.23		72.9	S39.9.9		72.0	H3.8.20		
最大4時間雨量（㎜）	173.0	S9.8.30		167.0	S49.7.8		158.5	H1.7.29		141.0	S17.8.25		136.0	S57.8.1		
最大連続雨量（㎜）	2,021.0	H10		1,476.5	H23		1,406.0	H19		1,401.3	S16		1,325.5	H20		
最大連続干天日数（日）	49.0	H17		46.0	S17		41.0	H23		32.0	S11・S41		31.0	S39		

３．海　　象　　※該当なし

（第3表-3）

観測所名 観測期間	年～　　年	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
実測地									

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び侵食の程度

（第4表-1-1）

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・樹園地								受益地標高		備考
		1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～15°	8°～15° 10°～15°	8°～15° 小計	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
（農地整備事業（経営体育成型））	面積 (ha)	―	21.9	―	―	―	21.9	0.8	―	―	―	0.8	―	―	0.8	221.8	214.1	
	比率 (%)	―	100.0	―	―	―	100.0	100.0	―	―	―	100.0	―	―	100.0	―	―	
合計	面積 (ha)	―	21.9	―	―	―	21.9	0.8	―	―	―	0.8	―	―	0.8	221.8	214.1	
	比率 (%)	―	100.0	―	―	―	100.0	100.0	―	―	―	100.0	―	―	100.0	―	―	

（第4表-1-2）

項目 土壌統(区)名	土壌統（区）区分一覧表										面積 (ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母体	農地整備事業（経営体育成型）			
	色	ひ腐植	レキ層	酸化沈殿物	土性 表層土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層及びグライ層			水田	畑	計	
黒色土壌・粘土腐食型	黒	-	-	―	CL	S	S	30cm～	-	-	21.9	0.8	22.7	

※該当なし

（第4表-1-3）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程度		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3mm～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積（ha）											
	比率（%）											

2．土地分類　※該当なし

（第4表-2-1）

級地別 / 市町村名	農用地造成											計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地			
		※	3°～8°	8°～12°	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	※	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
													※　は傾斜以外の要因によるもの。
計													

※該当なし

（第4表-2-2）

級地別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
計						

3．土地利用の状況

（第4表-3）

事業名	土地利用別 / 市町村別	耕地								山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田		普通畑	牧草地	果樹園	桑園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林					
		1耕作田	2耕作田													
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
（農地整備事業経営体育成型）	伊東市	21.9	―	0.8	―	―	―	―	―	―	0.0	―	0.0	0.0	22.7	
	計	21.9	―	0.8	―	―	―	―	―	―	0.0	―	0.0	0.0	22.7	

4．土 地 所 有 の 状 況

（第4表-4）

事業名	所有別 / 区分	個人所有	国有	県有	市町有		計	備考
（農地整備事業 経営体育成型）	面積（ha）	22.7					22.7	
	関係戸数（戸）	107					107	
	筆数（筆）	631					631	
	権利関係	所有権 使用賃借						
	備考 （受益者数）	111 人					111	

第 3 節　水　利　状　況

1．用 水 状 況

河川より自然取水している。

（1）用 水 系 統

別紙用水系統図参照

（2）用 水 施 設

（ア）取 水 方 法 一 覧 表

（第5表-1）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 1 ha以上		ha～ ha		100 ha以下		計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	m3/s	個所	m3/s	m3/s	
（農地整備事業 経営体育成型）	井堰														
	自然取入口					1	22.7	1	22.7						
	貯水池														
	揚水機														
	その他														
	計					1	22.7	1	22.7	—	—	0	0.0000	0.0000	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 / 施設名	個所数 (個所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は更新年月日	改修を必要とする理由	備考
(農地整備事業 (経営体育成型))	井堰							
	自然取入口	1	22.7	土水路・U字フリューム	U300～500		末端受益までの用水安定供給と用排分離	
	貯水池							
	揚水機							
	その他							
	計	1	22.7					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況　　※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 / 系統名	かんがい面積	現況必要水量	不足水量					平均維持管理費	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		平均減産量		
				平均	基準年	平均	基準年			
		ha	m3/S	m3/S	年	m3/S	年		千円	
	計									

(イ) その他の被害

※該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況　　※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人名 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業施設	公共施設	家屋その他	計		
計												

2．排 水 状 況

3河川に排水している。

(1) 排 水 系 統

別 紙 参 照

(2) 排 水 施 設

(ア) 排 水 方 法 一 覧 表

(第5表-4)

事業名	項目 / 施設名	排水面積						計		排水慣行	現況排水能力	備考
		ha以上		ha～ ha		100 ha以下						
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	m3/s	m3/s	
(農地整備事業 経営体育成型)	自然 排水路	—	—	—	—	1	110.4	1	110.4	—	2.4101	同一系統の地区外分を含む
	自然 水門											
	機械 排水機											
	機械 水門及び排水機											
	計	—	—	—	—	1	110.4	1	110.4	—	2.4101	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 / 施設名		箇所数	構造	規模	新設又は更新 年月日	改修を必要とする理由	備考
(農地整備事業 (経営体育成型))	自然	排水路		土水路・U字フリューム	U300～500	―	耕地の乾田化と排水能力不足解消	
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
	計							
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
	計							
合計								

(3) 排水に関する被害状況　　※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 / 施設名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		たん水状況 たん水深 (cm)	たん水時間 (hr)	たん水面積 (ha)	たん水量 (千m3)	乾湿状況 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 (t)	平均管理費 (千円)	備考
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														

3．河 川 状 況

(1) 河川の現況　　※該当なし

(第5表-7)

項目 / 河川名	流路状況	勾配	断面 ト・上幅・高さ	安全洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況　　※該当なし

(第5表-8)

項目 / 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第 4 節　道 路 の 状 況

1．道 路 概 況

主要道路は、県道中大見・八幡野線が地区界沿いに接しており、地区内を市道が通っている。

2．主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m) 全幅	幅員 (m) 有効	構造	改修の要否	備考
1	中大見・八幡野線	県	3,705	7.0	5.0	アスファルト舗装		
2								
3								
4								

第 5 節　地域農業の概況

1．産業別就業人口

（第7表-1）

市町村名＼項目	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売飲食業（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務員（人）	その他（人）	備考
伊東市	32,277 (27,799)	630 (618)		180 (105)	11 (6)	3,148 (2,490)	1,153 (1,041)	188 (165)	1,643 (1,271)	5,942 (4,696)	564 (462)	993 (898)	16,108 (15,150	769 (740)	948 (168)	H22国勢調査 (R2国勢調査)
計	32,277 (27,799)	630 (618)		180 (105)	11 (6)	3,148 (2,490)	1,153 (1,041)	188 (165)	1,643 (1,271)	5,942 (4,696)	564 (462)	993 (898)	16,108 (15,150	769 (740)	948 (168)	
比率（%）	100.0 (100.0)	1.9 (2.2)		0.6 (0.4)	0.0 (0.0)	9.8 (9.0)	3.6 (3.7)	0.6 (0.6)	5.1 (4.5)	18.4 (16.9)	1.7 (1.7)	3.1 (3.2)	49.9 (54.5)	2.4 (2.7)	2.9 (0.6)	

2．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

（第7表-2）

市町村名＼区分	農家総戸数（人）	経営耕地広狭別農家数（戸） 0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上	自給的農家数	1戸当り平均農用地面積（a） 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 1戸当り団地数	団地当り面積	専兼別農家数（戸） 専業	兼業 第1種	兼業 第2種	備考
伊東市	649	13	113	123	45	17	12	2	－	－	－	324	32	31	56	119	－	119	－	－	103	30	192	2010年農業センサス
計	649	13	113	123	45	17	12	2	－	－	－	324	32	31	56	119	－	119	－	－	103	30	192	
比率(%)	100	2.0	17.4	19.0	6.9	2.6	1.9	0.3	－	－	－	49.9							－	－	31.7	9.2	59.1	

3．動力農機具及び主要家畜頭数

（第7表-3）

市町村名＼項目	動力農機具 トラクター 数量（台）	トラクター 戸数（戸）	防除機 数量（台）	防除機 戸数（戸）	田植え機 数量（台）	田植え機 戸数（戸）	コンバイン 数量（台）	コンバイン 戸数（戸）	主要家畜 乳用牛 数量（頭）	乳用牛 戸数（戸）	肉用牛 数量（頭）	肉用牛 戸数（戸）	豚 数量（頭）	豚 戸数（戸）			備考
伊東市	35	35	－	－	18	18	11	11	－	－	－	－	－	－			2010年農業センサス
100戸当数量(台)	5.4		－		2.8		1.7		－		－		－				
利用戸数割合(%)	5.4		－		2.8		1.7		－		－		－				

4．主要作物作付状況

（第7表-4）

市町村名			伊東市								備考
総耕地面積			381 ha						ha		
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当り収量	作付面積	単位面積当り収量	作付面積	単位面積当り収量	作付面積	単位面積当り収量	
田	表作	水稲	8	422							2010年農業センサス
田	裏作										
田	小計		8								
畑	表作	野菜類	63								
畑	裏作										
畑											
畑	小計		63								
樹園地			310	－							
計			381								
市町村別延作付率 %			92.6	25ha/27ha							H23～24静岡農林水産統計年報

⇒総括⑥を参考に修正しました。

5．農業の動向

（第7表-5）

項目 / 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備考
	項目	B	A	地目	B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	機具名	B	A			
変化の状況	総農家数	84	82	耕地	82	88	水稲	0	67	乳用牛	－	－	トラクター	60	81		農業振興地域 S47.10.27	
	専業農家数	111	123	田	55	64				肉用牛	－	－	動力田植機	35	69			
（C年を100とする指標）	第1種兼業農家数	93	71	畑	110	90				豚	－	－	コンバイン	125	138			
	第2種兼業農家数	77	74	樹園地	74	89				養鶏	－	－						
	農業従事者	83	74															
変化の理由	高齢化及び後継者の農業離れによる。専業農家は増えている。			農地転用による減少			耕地面積の減少、水稲の生産調整。営農形態の変化による。						労働力不足による機械の導入及び機械の大型化。					

農業センサス　A:2010年・B:2005年・C:2000年

※比率はデータファイルの表外算出

第 4 章　一　般　計　画

第 1 節　事業計画の要旨

1．要　旨

本計画は、農用地の平坦化と区画整理により、集団的優良農地の確保、農道整備による営農労力の節減、農業用用排水路整備による農業生産性の向上及び農業経営の安定を図る。

2．事業別面積

（第8表）

事業名 / 土地利用区分 / 事業目的	農地整備事業（経営体育成型）																							計	備考
	田 (ha)	輪換耕 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	樹園地 (ha)	(ha)	小計 (ha)	田 (ha)	輪換耕 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	樹園地 (ha)	(ha)	小計 (ha)	田 (ha)	輪換耕 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	樹園地 (ha)	(ha)	小計 (ha)	(ha)	
区画整理工	14.4	－	0.8	－	－	－	15.2															15.2	
農道工	21.9	－	0.8	－	－	－	22.7															22.7	
計	21.9	－	0.8	－	－	－	22.7															22.7	

※ 区画整理工の事業面積はすべて農道工の事業面積に含まれるため、合計が一致しない。

第 2 節　営農計画及び土地利用計画

1．営農計画の概要

本事業の実施により、農地の流動化及び農作業の受委託を推進し、担い手農家の規模拡大を図る。

2．土地利用区分

（第9表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	樹園地 (ha)	茶園 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農地整備事業（経営体育成型）	現況	21.9	－	0.8	－	－	－	22.7	－	－	－	22.7	
	計画	21.9	－	0.8	－	－	－	22.7	－	－	－	22.7	

3．作付体系

（第9表-2）

事業名	項目	地目	区分／作物	1年目 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年目 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
・農地整備事業（経営体育成型）	現況	水田	水稲				○	△					×						○	△				×			
		畑	にんじん				△	△						○	○				△	△							
			さといも				○						△	△					○						△	△	
			ねぎ			○		△	△									○		△	△						
	計画	水田	水稲				○	△					×						○	△				×			
			さやえんどう			△		△					○					△		△					○		
			たまねぎ			△		△					○					△		△					○		
			ばれいしょ	○			△	△								○			△	△							
		畑	にんじん				△	△						○	○				△	△							
			さといも				○						△	△					○						△	△	
			ねぎ			○		△	△									○		△	△						

播種○　定植△　収穫×

4．生産計画

（第9表-3）

事業名	地目名	項目	作物名	作付面積 (ha) 現況	計画	増減	作付率 (%) 現況	計画	単位面積当り収量 (kg/10a) 現況	計画	増減	生産量 (t) 現況	計画	増減	同左生産量増減の内訳 面積増減量	単位面積当収量増加	備考
農地整備事業（経営体育成型）	水田	表作	水稲	23.3	21.9	△ 1.4	106.4	100.0	422	510	88	98.3	111.7	13	△ 6	19	
		裏作															
	普通畑	表作	さといも	0.8	0.8	0.0	100.0	100.0	1,423	1,884	461	11.4	15.1	4	0	4	
	計			24.1	22.7	△ 1.4											

5．労働改善計画

（第9表-4）

事業名	項目 / 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
農地整備事業（経営体育成型）	田	水稲	21.9	人力	64.6	14.3	△ 50.3	
				機械	33.5	5.8	△ 27.7	
	田	さやえんどう たまねぎ	10.0	人力	64.7	45.0	△ 19.7	
				機械	4.0	3.4	△ 0.6	
	畑	さといも	0.8	人力	74.0	5.8	△ 68.2	
				機械	4.6	7.2	2.6	
	計		32.7					

6．級地別土地利用区分　　※該当なし

（第9表-5）

区分 / 土地利用区分 / 級地名		農用地造成 一級地	二級地	三級地	四級地	計	干拓 一級地	二級地	三級地	四級地	計	備考
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地											
	（果樹園）											
その他												
計												

7．土 地 配 分 計 画　　※該当なし

（第9表-6）

項目 / 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha) 田	輪換耕地	畑 普通畑	牧草畑	樹園地				計	備考
増反											
入植											

第 3 節　用　水　計　画

1．計　画　基　準

2．計画かんがい方式　開水路方式

3．計 画 用 水 系 統　　河川より自然取水1箇所

4．計 画 用 水 量

（1）かんがい用水

（第10表-1-1）

項目 / 系統名	種別	面積(ha) / 事業名 / 農地整備事業(経営体育成型)	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代掻期 計画代掻単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	畑地かんがい 1日当り計画平均かん水深 (m3/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	田畑輪換 水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代掻期 計画代掻単位用水量 (mm)	面積 (ha)	畑地かんがい 1日当り計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	消費水量 (m3/S)	損失量 (m3/S)	粗用水量 平均 (m3/S)	最大 (m3/S)	備考
全体		22.7	30	150	21.9	5.0	4	0.8							0.0946	0.0179	0.1125	0.1125	

(2) 営農飲雑用水　　※該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積			日当り給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名		計	単位給水量	最大給水量			

5．水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2-1)

項目 / 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c=a-b (千m3)	粗用水量 d=α(1-a) (千m3)	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点利用可能量 e (千m3)	田畑面利用可能量 f (千m3)	純不足量 g=c-f (千m3)	全不足水量 h=d-e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		
全体	0.0946	—	0.0946	0.1125	河川	—	—	—	—	—	—	—	

（第10表-2-2）

区分		全工区				備考
		現況 (m3/s)		計画 (m3/s)		
		代掻期	普通期	代掻期	普通期	
純用水量		0.1130	0.0901	0.1657	0.1075	
損失水量		0.0476	0.0386	0.0301	0.0190	
全用水量		0.1606	0.1287	0.1958	0.1265	
利用可能量		0.1606	0.1287	0.1958	0.1265	
不足量						

(2) 用 水 対 策

(ア) 井堰及び自然取水口

（第10表-3）

項目 / 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha) 農地整備事業(経営体育成型)			取水量		渇水量 (m3/s)	備考
			地区内	地区外	計	最大 (m3/s)	平均 (m3/s)		
河川取水堰	鳴川	－	22.7		22.7	0.1958	0.1265	－	

（イ）貯　水　池　　※該当なし

（第10表-4）

項目 / 貯水池名	流域面積（ha） 直接	流域面積（ha） 間接	かんがい面積（ha） 事業名		かんがい面積（ha） 計	有効貯水量（千m3）	利用貯水量（千m3）	利用回数（回）	最大取水量（m3/s）	備考

（ウ）揚　水　機　　※該当なし

（第10表-5）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha） 事業名 地区内	かんがい面積（ha） 事業名 地区外	かんがい面積（ha） 事業名 計	所要水量 最大（m3/s）	所要水量 平均（m3/s）	揚水機 実揚程（m）	揚水機 揚水量（m3/s）	揚水機 台数（台）	揚水機 全揚水量（m3/s）	備考

（エ）用　水　路

（第10表-6）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 農地整備事業（経営体育成型） 地区内	地区外	計	最大通水量（m3/s）	延長（m）	構造	備考
全体	22.7		22.7	0.1958	4,100	U字フリューム	SF300～500

（オ）その他の水源　　※該当なし

（3）水温水質　　※該当なし

第 4 節　排　水　計　画

1．計画基準雨量　時間雨量　61.8mm/hr　(1/10確立)　4時間雨量　121.5mm/4hr (1/10確立) ⇒ 支線排水

2．計画排水方式　自然排水方式

3．計画排水系統　別紙参照

4．排　水　量

(第11表-1)

項目 / 排水系統名	受益面積 (ha) 農地整備事業(経営体育成型) 区画整理		計	流域面積 (ha) 山地	平地	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s) 山地	平地	基底流量 (m3/ha) 山地	平地	全排水量 (m3/s) 山地	平地 自然排水	機械排水	単位排水量 (m3/s/ha) 山地	平地	備考
		-					-	-	-	-			-			
支線	22.7	-	22.7		110.4	121.5	-	-	-	-		2.4101	-	0.0213	0.0380～0.0506	
計	22.7	-	22.7		110.4	-	-	-	-	-		2.4101	-			

5．排 水 対 策

(1) 排 水 水 門　※該当なし

(第11表-2)

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名			計画 排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	排水機 名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	備考

(2) 排　水　機　※該当なし

(第11表-3)

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名			計画 排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	排水機 名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	備考

(3) 排　水　路

(第11表-4)

項目 / 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha) 農地整備事業(経営体育成型) 区画整理			計画排水量 (m3/S)	延長 (m)	構造	排水本川 名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	備考
全体	110.4	22.7			4.79	1,900	組立柵渠	鳴川	－	－	

(4) そ　の　他

5．た ん 水 検 討　※該当なし

第 5 節　道　路　計　画

1．道路及び索道

(第12表-1)

項目 / 路線名	幅員(有効) × 延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
支　線　道　路	3.5 (3.0) × 2,700	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	―	

※該当なし

項目 / 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

1．路線配置図

計画平面図参照

第 6 節　農用地造成計画

1．農用地造成計画　※該当なし

（第13表-1）

項目 / 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2．土壌改良　※該当なし

（第13表-2）

項目 / 区分	面積	土壌	pH		置換酸度	リン酸吸収係数	ha当り所要量			備考
			H_2O	KCl	（V_1）	(ma/100a)	石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第 7 節　洪水調節計画

1．計画基準雨量　※該当なし

2．計画洪水量及び調節量　※該当なし

（第14表-1）

地点	流域面積 (km2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m3/s)	安全洪水量 (m3/s)	必要調節量 (m3/s)	ピーク時調節の量 (m3/s)	ピーク時調節後流量 (m3/s)	調節後最大流量 (m3/s)	調節前後の最大流量の差 (m3/s)	最大調節量 (m3/s)

3．貯水池　※該当なし

（第14表-2）

項目 / 貯水池名	流域面積		計画洪水量	貯水量			計画調節流量	可能調節流量	備考
	直接 (km2)	間接 (km2)	(m3/s)	有効 (千m3)	洪水調節容量 (千m3)	多目的 (千m3)	(m3/s)	(m3/s)	

4．洪 水 調 節 検 討

(1) 河川改修計画との関係　※該 当 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響　※該 当 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討　※該 当 な し

5．管 理 計 画

(1) 管理機構　※該 当 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準　※該 当 な し

(3) 洪水調節要領　※該 当 な し

第 8 節　干 拓 計 画　※該当なし

（第15表）

項目 / 名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第 9 節　農 用 地 整 備 計 画

1．区 画 整 理　※該当なし

(1) 区 画 形 状

（第16表-1）

長辺×短辺	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (m)	備考

(2) 表 土 扱 い

（第16表-2）

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考

(3) 末 端 道 水 路 配 置 図　※該 当 な し

2．暗 渠 排 水

（第16表-3）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 田	畑	計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/hr)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位（m）	集水渠出口以下の排水方式	備考
暗渠排水	14.4	0.8	15.2	黒色土壌・粘土腐食型	62.1	0.0035	0.5	排水路	

3．客　　土　　※該当なし

（第16表-4）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			土壌統(区)名	減水深（mm） 現況平均	計画平均	作土の厚さ（cm） 現況平均	計画平均	10a当り客土量	土壌の性質 受益地	採土地（客土）材料	備考

4．農 地 保 全

(1) 防 災 林　　※該当なし

（第16表-5-1）

項目 / 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排 水 工　　※該当なし

（第16表-5-2）

項目 / 区分	基準雨量	土性	流出率	排水量 単位排水量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	備考

(3) 侵食（崩壊）防止工　　※該当なし

（第16表-5-3）

項目 / 施設名	位置	支配面積（ha）	機能	備考

第 １ ０ 節　　老朽ため池改修計画

１．洪 水 吐 改 修 計 画

(1) 計画基準雨量　　※該 当 な し

(2) 計 画 洪 水 量　　※該 当 な し

２．堤 体 補 強 計 画　　※該 当 な し

３．取水施設改修計画　　※該 当 な し

第 5 章　　主 要 工 事 計 画

第 1 節　　用　水　施　設

１．頭　首　工　　※該当なし

（第17表-1）

名　称				位　置				備　考
型　式	堤　体 (m)	堤 長 (m) 固 定 部	可 動 部	計	取 水 位 (m)	取 水 量 (m3/s)	付 帯 施 設	

２．貯 水 池　　※該当なし

（第17表-2）

名　称				位　置						
堤　体	型　式	流 域 面 積 (km²) 直　接	間　接	堤　高 (m)	堤　長 (m)	堤 体 積 (千m3)	基盤･地盤 地　質	貯　水　量 (千m3) 総 貯 水 量	有 効 貯 水 量	備　考
洪 水 吐	型　式	洪水量 (m3/s)	備　考	取 水 施 設	型　式	取水量 (m3/s)	放 流 施 設	型　式	放流量 (m3/s)	

3．揚 水 機　　※該当なし

（第17表-3）

項目 名称	位置	揚水量 (m3/S)	揚程（m）		揚水機			原動機			備考
			実揚程	全揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力	台数(台)	

4．用 水 路

（第17表-4）

項目 水路名	支配面積			通水量	延長（m）			構造	備考
	農地整備事業(経営体育成型)								
	地区内	地区外	計	(m3/S)	総延長	開渠	その他		
全体	22.7		22.7	0.1958	4,100	4,100		U字フリューム SF300～500	

5．その他のかんがい施設　　※該当なし

（第17表-5）

項目 施設名	構造	規模	数量	備考

第 2 節　排 水 施 設

1．排 水 水 門　　※該当なし

（第18表-1）

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m3/S)	備考

2．排 水 機　　※該当なし

（第18表-2）

項目 / 名称	位置	揚水量 (m3/S)	揚程 (m) 全揚程	揚程 (m) 実揚程	排水機 形式	排水機 口径 (mm)	排水機 台数 (台)	原動機 形式	原動機 動力	原動機 台数 (台)	備考

3．排 水 路

（第18表-3）

項目 / 水路名	受益面積 (ha) 農地整備事業(経営体育成型) 地区内	地区外	計	排水量 (m3/S)	延長 (m) 総延長	開水路	その他	構造	備考
全体	15.2	95.2	110.4	4.79	1,900	1,900		組立柵渠	

4．そ の 他

第 3 節　道 路 及 び 索 道

1．道　路

(1) 道路の総括表

（第19表-1）

項目 / 区分	路線名	幅員 (m) × 延長 (m)	構造	付帯構造物 名称	付帯構造物 構造	付帯構造物 数量 (箇所)	最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
支線道路	9 路線	3.5(3.0) × 2,700	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	－	－	－	－	－	－	

(2) 道路主要構造物　　※該当なし

（第19表-2）

項目 / 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所名 (箇所)	備考

２．索　　道　　※該当なし

（第19表-3）

項目 / 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機 型式	原動機 動力	備考

第　４　節　　農　用　地　造　成

１．農用地造成工

（1）抜　　根　　※該当なし

（第20表-1）

項目 / 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

（2）除　　礫　　※該当なし

（第20表-2）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当り平均除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考

（3）開墾作業　　※該当なし

（第20表-3）

区分 / 項目		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
計				

２．土壌改良　　※該当なし

（第20表-4）

項目 / 区分	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考

第 5 節　洪水調節施設

1．貯　水　池　※該当なし

2．頭首工及び導水路

(1) 頭　首　工　※該当なし

(第21表-1)

名称			位置					備考
			堤長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設備	
形式	集水面積 (km²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計			

(2) 導　水　路　※該当なし

(第21表-2)

項目 / 水路名	通水量 (m3/s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第 6 節　干拓施設

1．堤　防　※該当なし

(第22表-1)

項目 / 名称	形式 (m)	延長 (m)	構造					原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2．潮　止　め　※該当なし

(第22表-2)

項目 / 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3．付 属 施 設　※該当なし

4．埋　　立　※該当なし

（第22表-3）

項目 / 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施行方法	備考

第 7 節　農用地整備施設

1．区 画 整 理

（第23表-1）

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 千m3	面積 (ha)	土量 千m3	
全体	15.2					畦畔撤去工

2．暗 渠 排 水

（第23表-2）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	農地整備事業		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (cm)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
黒色土壌・粘土腐食型	15.2		15.2	1/500	塩ビ管	75	－	1/500	コルゲート管	50	60	5	－				

3．客　　土　※該当なし

（第23表-3）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名		計	客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
計								

4．農 地 保 全

(1) 防　災　林　　※該当なし

(第23表-4)

	幅 (m)	延　長 (m)	面　積 (ha)	樹　種	植 栽 本 数 (本)	備　考
計						

(2) 排　水　路　　※該当なし

(第23表-5)

項　目 区　分	延　長 (m)	流　量 (m3/s)	構　造	備　考
計				

(3) 侵 食 防 止 工　　※該当なし

(第23表-6)

項　目 名　称	構　造	数　量	備　考
計			

第 8 節　　老朽ため池改修施設

1．貯　水　池　　※該当なし

(第 24 表)

名　称					位　置			
堤　体	形　式	流　域 (km²)	堤　高 (m)	堤　長 (m)	堤 体 積 (m)	堤 長 幅 (m)	貯 水 量 (千m3)	備　考
洪　水　吐	形　式	洪 水 量 (m3/s)	規　模 (m)	備　考	取 水 施 設	形　式	取 水 量 (m3/s)	備　考

２．堤体補強施設

(1) 法面保護施設　　該当なし

(2) 漏水防止工　　該当なし

第６章　　付帯工事計画

該当なし

第７章　　工事の着手及び完了予定時期

着　　手：令和　7　年度

完了予定：令和　12　年度

第 8 章　　環境との調和への配慮

1. 地域環境の概況

本地区は、伊東市南部に位置し、標高215m～218mと比較的高く、周辺には、大室山の新規火山を囲むように溶岩流および、起伏性のある火山地が広がっている。中心域には、沖積低地が広がっており、水田として利用されている。

耕地の多くは、水田となっている。この水田は、大室山の噴火によりせき止められた池であり、昔は大池と呼ばれていた。江戸時代より田園開発が進み、明治の頃、鳴川の排水トンネルが完成している。大正8年頃に区画整理が行われ、現在の姿となっている。本地区は、周辺を山に囲まれ、山水が集中する地形となっている。

このため、洪水時には、排水路の水位上昇による湛水被害に見舞われており、営農の妨げとなっていた。

平成元年から平成9年にかけ、県営かんがい排水事業を実施し、末端排水路を整備したことにより、湛水被害が軽減している。

本地区は、三方を山に囲まれ、車の交通量が少なく、地元の人や小学校の散策コースとなっている。地区内は、池のさとと言われる広場や、めんだっこスクールという地元の景観推進団体が存在する。また、花ショウブ、あじさい、彼岸桜等景観植物も多数あり、平成22年には、天皇陛下、皇后さまも散策に訪れており記念の看板が立てられている。

2. 環境との調和への配慮

本町の「環境保全の基本的考え方」について以下のようにする。

【基本方針】

景観に配慮した農業の振興

ー美しい自然を育む交流型農業の振興ー

「豊かな自然との調和を基本とした国土利用」にて、豊かな緑、優良農地等の自然環境を保全しつつ、保健林養、学習など暮らしの中に活用しながら、自然と暮らしが調和した秩序ある国土利用を図り、自然環境を改変する場合においても、周辺の環境に与える影響や生態系等に十分配慮する。

本地域は、自然環境保全区域ではないが、

工事施工時には流水が無くなることにより、下流域の動植物の生息環境に悪影響を及ぼさぬよう、仮排水路等を設け常時通水することに努める。

排水路沿いの畦畔には、在来種による法面緑化を行う。

道路舗装の再生クラッシャーランをスコリア舗装とし、景観に配慮する。

第 9 章　　換 地 計 画 の 概 要　　※ 該当なし

第 1 節　　換地計画を作成する上での基本的な考え方。

第 2 節　　換 地 区 の 設 定

１．換地区の名称、所在、面積

（第25表-1）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積 (ha)	備　考
計			

２．換地区を設定する理由

第 3 節　換地計画樹立の基本方針

1．従前の土地の地積の基準

（第25表-2）

換地区名	地積の基準	備考

2．用途別予定地積

（第25表-3）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第1条の4()書）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			合計	特定用途用地			異種目換地	農業経営合理化施設用地	生活条件経営上必要施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計	合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施	その他	小計		改良区	その他	計		宅地	その他	計													
	従前																												
	換地後																												
	従前																												
	換地後																												
計	従前																												
	換地後																												

3．農用地集団化の方針

（第25表-4）

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法			備考
		位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	

4．非農用地換地の方針

（第25表-5）

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概要	面積 (㎡)	換地の手段	換地取得予定者	備考

第 4 節　土地の評価及び清算の方法

1．評価の方法

2．清算の方法

第 5 節　換地計画樹立の年度計画

（第25表-6）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第 6 節　換地処分の時期に関する特則

第１０章　事業費の総額及び内訳

事　業　費　785,000　千円　　総事業費　824,250　千円

内　訳

項目 / 区分	数量	事業費	備考
１．工事費	1.0 式	770,000 千円	
区画整理工	15.2 ha	658,000	
農道工	2,700 m	112,000	
	m		
	m		
	ha		
２．測量試験費	1 式	10,000	地形測量、実施設計費
３．用地買収補償費	1 式	5,000	電柱移転
４．工事雑費	1 式		２．５%以内
５．事業費	1 式	785,000	
６．地方事務費	1 式	39,250	５．０%以内
総事業費	1 式	824,250 千円	

第１１章　効　　用

区分 ＼ 項目		増加見込効果額（千円）	増加見込所得額（千円）	備考
農業生産向上効果	作物生産効果	42,057	40,503	
〃	国産農作物安定供給効果	8,116	－	
農業経営向上効果	営農経費節減	37,489	38,467	
〃	維持管理費節減	△ 201	△ 77	
〃	営農に係る走行経費節減	11,824	1,382	
その他		－	－	
計		99,285	80,275	
廃用損失額				
				総費用　1,915,192　千円
				総便益費　2,341,082　千円 投資効率　1.22

第１２章　関連する事業

・平成元年～9年度　かんがい排水事業（排水対策特別型）池地区

・平成29年～令和6年度　県営農地整備事業（耕作放棄地型）池地区

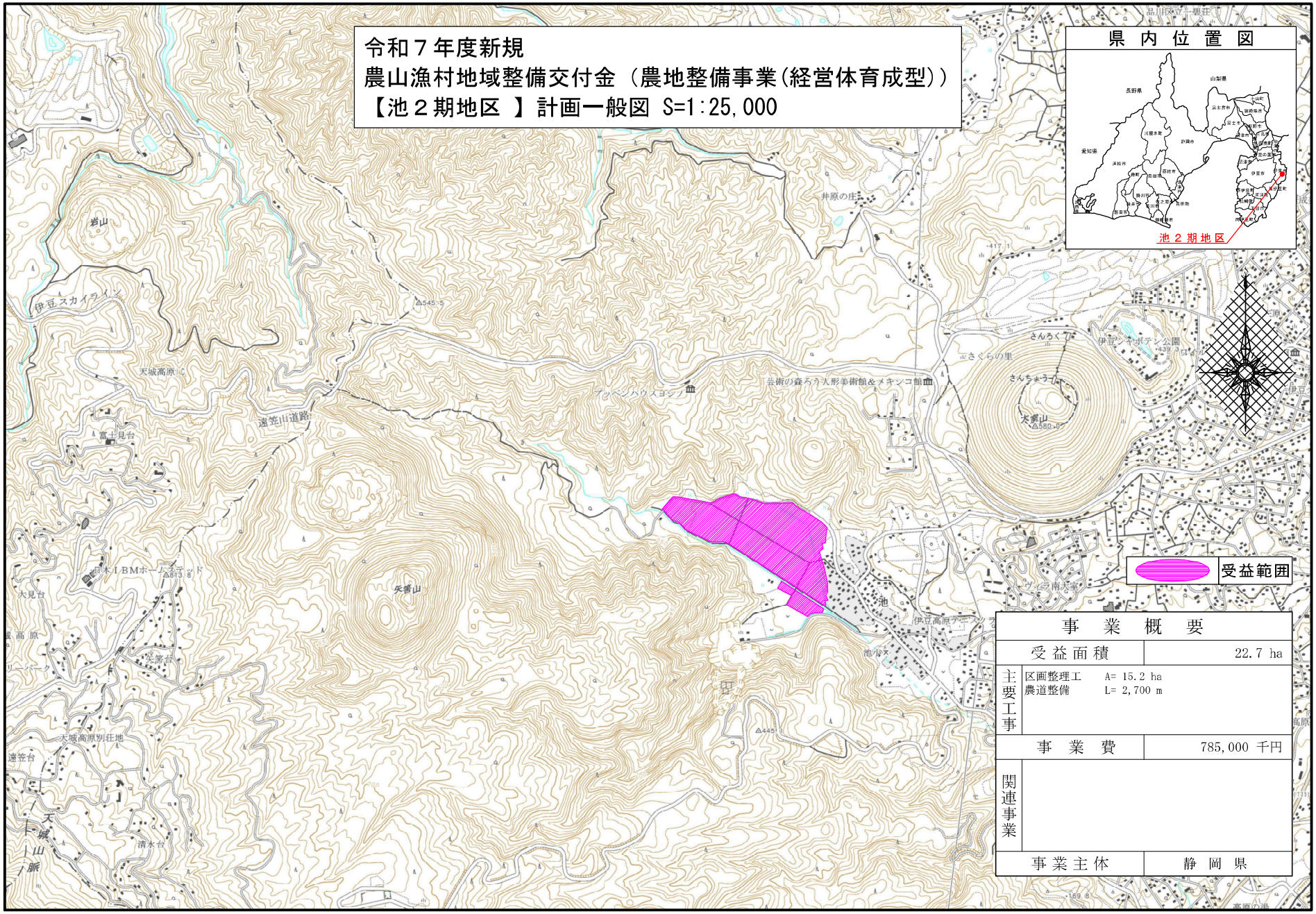
第１３章　現況・計画図面

1. 計画一般図　（ 1 ／ 25,000 ）

2. 計画平面図

3. 土地利用計画図　（ 1 ／ 25,000 ）

令和７年度新規
農山漁村地域整備交付金（農地整備事業(経営体育成型)）
【池２期地区 】計画一般図 S=1:25,000

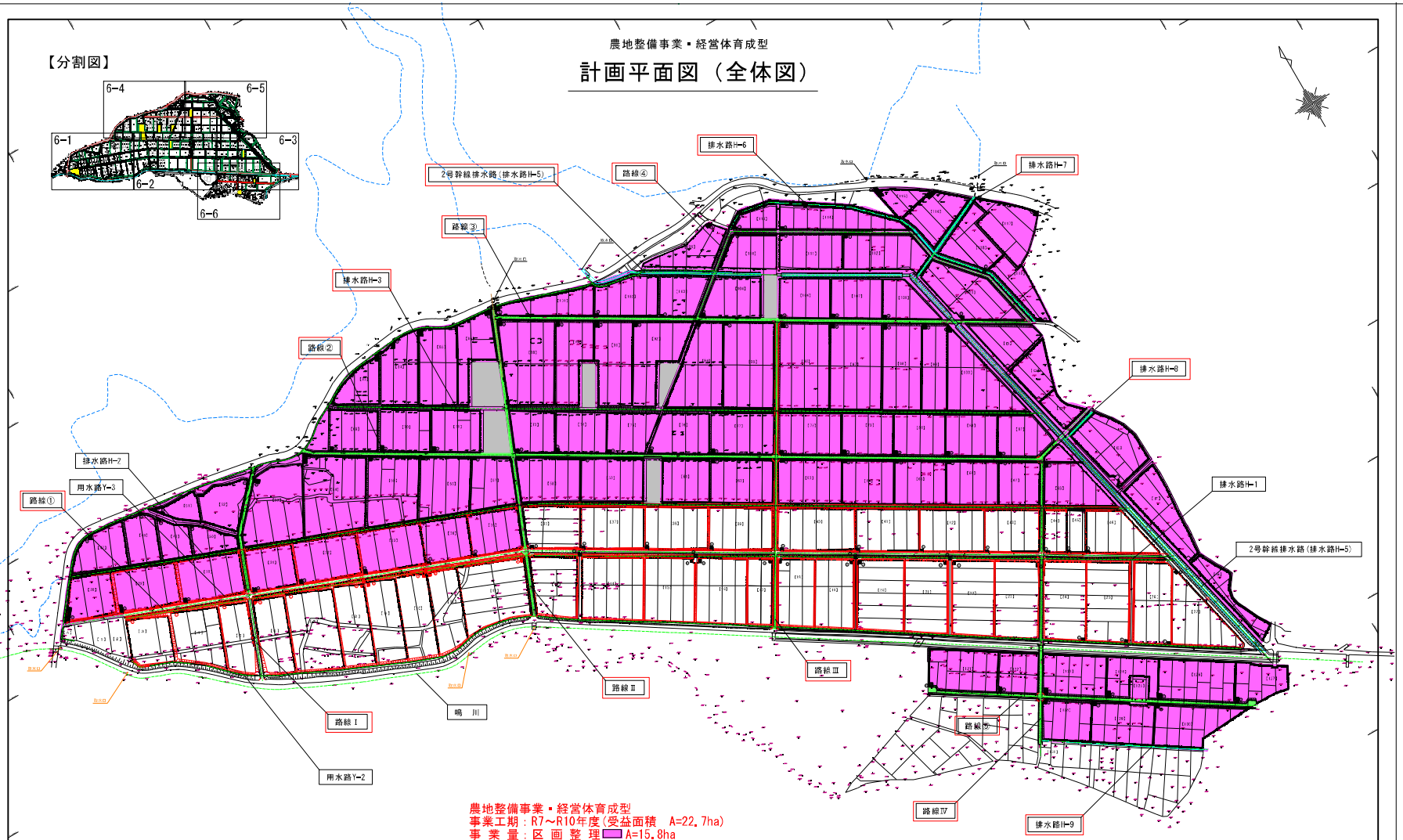


事業概要	
受益面積	22.7 ha
主要工事	区画整理工 A= 15.2 ha 農道整備 L= 2,700 m
事業費	785,000 千円
関連事業	
事業主体	静岡県

農地整備事業・経営体育成型

計画平面図（全体図）

【分割図】



農地整備事業・経営体育成型
事業工期：R7～R10年度（受益面積　A=22.7ha）
事 業 量：区 画 整 理　A=15.8ha
農　道　工　L=2,700m

0　50m　100m
No scale

図面の名称	図面番号
計画平面図（全体図）	
縮尺　図示	
測量	令和　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
事務所長	主任
主幹課長	係員

令和７年度新規
農山漁村地域整備交付金（農地整備事業(経営体育成型)）
【池２期地区 】土地利用計画図 S=1:25,000